

## 後期基本計画における施策の体系

## はじめに

- 1. 後期基本計画策定の趣旨 . . . . . 2
- 2. 計画の期間 . . . . . 2
- 3. 施策の推進にあたって . . . . . 2

## 第1章 快適に暮らせるまちをつくる

- 第1節 土地利用の推進 . . . . . 4
- 第2節 都市基盤の整備 . . . . . 6
  - 1. 道路の整備 . . . . . 6
  - 2. 公共交通網の整備 . . . . . 8
  - 3. 公園緑地の整備 . . . . . 9
  - 4. 宅地の整備 . . . . . 10
- 第3節 生活基盤の整備 . . . . . 11
  - 1. 住宅の整備 . . . . . 11
  - 2. 上水道の整備 . . . . . 12
  - 3. 下水道の整備 . . . . . 13
  - 4. 消防防災・交通安全・防犯基盤の整備 . . . . . 14
  - 5. 情報通信基盤の整備 . . . . . 16
  - 6. 社会資本の長寿命化 . . . . . 17
  - 7. 空き家対策 . . . . . 18

## 第2章 元気で明るく暮らせるまちをつくる

- 第1節 医療・保健の充実 . . . . . 20
- 第2節 高齢者福祉・社会福祉の充実 . . . . . 22
- 第3節 児童福祉・子育て支援の充実 . . . . . 24
- 第4節 社会保障の充実 . . . . . 26

## 第3章 人を育むまちをつくる

- 第1節 学校教育の充実 . . . . . 28
- 第2節 生涯学習の充実 . . . . . 30
- 第3節 スポーツ・レクリエーションの振興 . . . . . 32
- 第4節 文化の振興 . . . . . 34
- 第5節 国際交流の推進 . . . . . 36
- 第6節 人権擁護・男女共同参画・青少年健全育成の向上 . . . . . 38

## 第4章 活力をおこすまちをつくる

第1節 農林水産業の振興	4 2
第2節 商工業の振興	4 6
第3節 観光の振興	4 7

## 第5章 人と自然が共生するまちをつくる

第1節 自然環境の保全	5 0
第2節 生活環境の保全	5 1
第3節 循環型社会の構築	5 2
第4節 環境学習の推進	5 3

## 第6章 とともに考え行動するまちをつくる

第1節 行財政の健全化	5 6
第2節 住民参加・協働の推進	5 7
第3節 広域・地域間連携と交流の促進	5 8

## 第7章 重点プロジェクト

まちづくりの重点プロジェクト	6 0
----------------	-----

## 参考資料

1. 第2次那珂川町総合振興計画基本構想	6 2
2. まちづくりのためのアンケート調査結果	9 0
3. 町政懇談会意見要約	1 1 2
4. 第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画策定方針	1 1 8
5. 那珂川町まちづくり審議会	1 2 2
6. 第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画策定経緯	1 2 6

# 【後期基本計画における施策の体系】

基本理念

未来像  
 人・もの・自然が融和し  
 みんなで手を取り合い  
 元気を生み出すまち

基本目標

- 第1章  
快適に暮らせるまちをつくる
- 第2章  
元気で明るく暮らせるまちをつくる
- 第3章  
人を育むまちをつくる
- 第4章  
活力をおこすまちをつくる
- 第5章  
人と自然が共生するまちをつくる
- 第6章  
ともに考え行動するまちをつくる
- 重点プロジェクト

基本施策

- 土地利用の推進
- 都市基盤の整備
- 生活基盤の整備
- 医療・保健の充実
- 高齢者福祉・社会福祉の充実
- 児童福祉・子育て支援の充実
- 社会保障の充実
- 学校教育の充実
- 生涯学習の充実
- スポーツ・レクリエーションの振興
- 文化の振興
- 国際交流の推進
- 人権擁護・男女共同参画・青少年健全育成の向上
- 農林水産業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 自然環境の保全
- 生活環境の保全
- 循環型社会の構築
- 環境学習の推進
- 行財政の健全化
- 住民参加・協働の推進
- 広域・地域間連携と交流の促進
- 「雇用の創出」推進プロジェクト
- 「結婚・出産・子育て」推進プロジェクト
- 「新しいひとの流れ創出」推進プロジェクト
- 「住めばみやこ」推進プロジェクト

## 主な施策

○：見直しあり  
◎：重点施策

## 視点

① 総合戦略との連動

② 独自性を活かしたサービスの向上

③ SDGsの理念を取り入れた施策の推進

④ 地域性を踏まえた施策の立案

調和のとれた土地利用の誘導、長期的視野に立った土地利用の推進・都市施設の整備
○災害に強く次世代につなぐための道路整備、バス路線の維持、町民に愛される公園整備、◎分譲宅地の整備
町営・町有住宅の整備、水道水の安定供給、公共下水道等の整備、○防災対策の充実、○ケーブルテレビ施設光化の推進、◎ケーブルテレビを核とした地域情報化・ネットワーク化の推進、社会資本の長寿命化、◎空き家等の利活用
保健事業の推進、◎健康習慣づくりの推進、生活習慣病予防の推進、こころの健康づくりの推進、生涯を通して安心して暮らせる環境づくりの推進
○保健・医療・福祉・介護サービスの連携と充実、生きがいづくり事業の推進、障がい福祉サービスの充実
○出産・育児支援の充実、認定こども園のサービス向上、◎子育て支援の充実、◎結婚につながる活動の促進
介護保険制度の充実、国民健康保険・後期高齢者医療制度の健全化
◎「生きる」力を育むための確かな学力の向上、心身ともに健康で豊かな人間性を育む教育の推進、学びを支える教育環境づくりの推進
○生涯学習の推進、情報化時代に対応した生涯学習の推進、生涯学習施設の整備と適正管理、子どもの読書活動の推進、図書館の充実
各種スポーツの振興、地域におけるスポーツの振興、指導者の養成と資質の向上、健康・体力づくりの推進、○社会体育施設の整備及び維持管理
文化の振興、歴史文化施設のネットワーク化、歴史文化資源の保存と有効活用、○芸術文化普及活動の推進
国際交流事業の効果的な推進、国際交流を推進する運営組織の充実、○交際的な視野を持った人材の育成、交際化に対応した地域づくりの推進
人権擁護活動の推進、男女共同参画社会の実現、女性の社会参画の推進、次代を担う青少年の健全育成、非行防止の強化
◎地域の特性を活かした農業の確立、○意欲と能力のある多様な農業者の育成、○林業の活性化、◎地域特性に応じた水産業の振興、○6次産業化に向けた取組の推進
商業等の活性化と経営強化、企業の経営体質の強化、優良企業の立地促進、◎新産業の創出・育成
◎観光資源の保護・活用と拠点整備、観光商品の開発、観光ネットワークの整備
環境基本計画に基づく安全安心なまちづくりの推進、自然環境の保全、森林の保全、農地の保全、水辺の保全
生活環境の保全、生活雑排水の適正処理、廃棄物処理の指導強化、地域環境の保全、環境の美化、ごみの分別収集
◎循環型社会の構築の推進
環境学習の推進
推進体制の適正な運用、行財政の健全化の推進、○未利用公共施設の利活用
協働のまちづくりの推進、協働のまちづくりを進めるための環境整備・意識改革、地域おこし協力隊の活動推進
広域・地域間連携の推進、地域間交流の促進
◎地域の特性を活かした農林水産業の確立 ◎地域の資源を活かした新産業の創出・育成 ◎地域の資源を活かした商品の開発・販売促進 ◎循環型社会の構築の推進
◎結婚につながる活動の促進 ◎子育て支援の充実 ◎郷土愛の醸成・確かな学力の向上
◎分譲宅地の整備の推進 ◎空き家等の利活用の推進 ◎観光資源の保護・活用と拠点整備
◎ケーブルテレビを核とした地域情報化・ネットワーク化の推進 ◎災害に強いまちづくりの推進 ◎健康習慣づくりの推進

## はじめに

1. 後期基本計画策定の趣旨
2. 計画の期間
3. 施策の推進にあたって

# はじめに

## 1. 後期基本計画策定の趣旨

那珂川町では、平成28年3月に策定した「第2次那珂川町総合振興計画なかがわ「元気」ビジョン」を指針として、計画の基本理念でもある「人・もの・自然が融和し みんなで手を取り合い 元気を生み出すまち」の実現に向けた町づくりを推進してきました。

町を取り巻く社会情勢は、人口減少に伴う少子高齢化が進行しており、若者の流出による町内の経済活動や地域活力の低下などの課題が依然として残っています。また、大規模化する自然災害や新型コロナウイルス感染症の流行など、日常生活において様々なリスクが顕在化してきていることから、新たな課題に対する取り組みも求められているところです。

こうした状況の中、前期基本計画の計画期間が令和3年3月末をもって終了することから、厳しい社会情勢の変化や地域の課題に対して的確に対応しつつ、総合的かつ計画的に町づくりを推進するため、後期5年間における計画目標と施策の内容を踏まえた後期基本計画を策定するものです。

## 2. 計画の期間

後期基本計画の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5か年間とします。

## 3. 施策の推進にあたって

後期基本計画においては、以下の視点に立った施策の立案・推進に努めます。

### (1) 那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略との連動

後期基本計画で掲げる重点プロジェクトについては、第2次那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略との調整を図りながら、より実効性のある施策となるよう連動を強化していきます。

### (2) 独自性を活かしたサービスの向上

情報通信技術（ICT）が進展する中で、未来技術の活用による Society5.0 の実現が少子高齢化などの地域的課題の解決にも期待されています。当町においては、ケーブルテレビのネットワーク網が整備されていることから、未来技術の活用も見据えながら、防災や日常生活などの幅広い分野におけるケーブルテレビネットワークの活用により、サービスの向上に努めます。

### (3) SDGs の理念を取り入れた施策の推進

国内外において、SDGs（持続可能な開発目標）の理念が認識されてきていることから、町としてもSDGsへの理解と意識向上に努めるとともに、その理念を取り入れた施策の推進に努めます。

### (4) 地域性を踏まえた施策の立案

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内でも仕事や学校といった日常生活をはじめ、経済活動にも大きな影響を及ぼしています。感染症等の流行に伴う社会情勢の変化については、地域性を踏まえながら柔軟な発想による施策の立案に努めます。